

2012年 4月

農業ボランティア

当時住んでいた葛飾 区主催の農業ボラン ティアに参加。茨城 県で米や野菜づくり の農作業ボランティ アを行う。農業を仕 事にすることを考え 始める。

営農計画を立てる

就農コーディネーター の方にもアドバイスをも

らいながら、5年後を

めどにした営農計画を

立てた。数字を見せる

ことで、当初は反対し

ていた両親も納得して

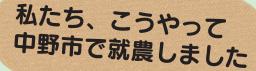
応援してくれるように。



2011年 10月

収穫体験

東京で会社勤めをし ていた関さん夫婦。 千葉県の親戚の畑で 野菜の収穫体験。こ れがきっかけで農業 の楽しさを知り、もっ と農業体験できる場 所を探し始めた。





2013年 3~11月

2013年 12月

長野県農業 大学校受験

長野県で農業をやる覚 悟を決め、農業大学校 を受験。合格通知をも らい、職場に3月末で の退職を申し出る。こ のとき、資金面では 400 万円を準備。

東京都品川区出身で、農業と は無縁の環境で育った関良祐 さん。妻の理恵さんと2人 で2016年4月、中野市で果 樹農家として新規就農しまし た。「農業をやろう!」と決 意してからどのくらいの期間 をかけて、どのような流れで 就農したのでしょうか。



2015年 4月



2014年 12月



2014年 4月

里親研修スタート

実際の果樹の栽培過程や 農家の心構えを学ぶ。近所 付き合いや地域の暮らし方 も。間借りしていた隣の家 が空き家になり、住居として 借りることに。これまで間借 りしていた家を作業場や倉 庫として使わせてもらう。



中野市に移住

里親農家さんが受け入れて くれたので中野市へ。雪の 量が不安だったが、実際 に冬に足を運び、これなら 大丈夫かなと。農大に籍を 置きながら、里親農家さん の親戚の家を間借りし、里 親農家と農大の並行研修。



長野県農業大学校研修部(小諸市) に入校。夫婦で入れる寮で生活。 農業の基礎や農業機械の取り扱い を学ぶ。就農先は北信地域を希望 していたが、絞り込めずに悩んでい た。東京のスーパーで中野市産のブ ドウを見ていたので「ブドウなら中 野市」という思いがあった。

他の地域と比べて元就農が多い印で、農業者を育成しないで、労力としてのイッからではないで、中野市で域の農業の発展の大大が登録があります。労力としてで、対の農業者を育成しないで、がきます。共感してでいます。労力としてのイッションでは、がから思いで協力としてでいます。共感している。 いはいい農域す親ないまる。豊 いるす元他のかまる。 就の取県 が域組で ると比ぶるかり つかりべて中 いでしょうか。 いでは8人の里 ではなく「地 を がではなく「地 を がではなく「地 を ではなく「地 を ではなく「地 を ではなく がでいま がでいま がでいま がでいま がでいま がでいま がっために若手 と ではなく がっために若手 ぶに登録



長野県北信農業改良 普及センター 就農コーディネーター 春日さおりさん

話ネポたの度 さ就を先し りさ 選定 , さん デ 12 を 里 イサ

就

2012年 7月

ポイント1 家族の理解を得ること

農業体験、就農相談はぜひ家族と一緒に。 家庭内での話し合いをじっくり行い、家 族の理解を得てから動きましょう。



ポイント2 実際に体験してみること

会社員時代は一日中パソコンに向かって 仕事をしていたので、暑さや寒さに耐 え、自分に農作業ができるのか不安でし たが、実際に体験して自信がつきました。 農業体験など、主催者が設定している日 程に都合が合わなくても相談してみま しょう。また、将来住むとなったらどう いう暮らしをするのか、現地では周囲の 環境もよく見ておきましょう。

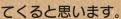


就農先を決めてからも、

農地と家をちゃんと確保できるのか

不安でした。最初はアパート住まいで、ア ルバイトをしながら野菜を作ってつなごうと 考えていましたが、幸いにも里親農家さんを 通して、住まいも農地も地域の方からお借り することができました。地域の行事に積

極的に顔を出し、皆さんの信頼を得る ことで、いろいろな情報が集まっ



移住相談会・就農相談会

移住相談会・就農相談会に 行き始める。首都圏に近い ところでブドウを栽培した いと考えていたので、山梨 県や長野県の相談会に5、 6回通う。長野県の就農コー ディネーターにも相談に 乗ってもらい、情報を収集。





2013年 2月

長野県で農業体験

インターネットで情報 収集し、長野県内での 農業体験に参加。日帰 りや1泊2日で、農業 大学校(リンゴの剪定) や飯綱町(リンゴ・桃 の摘果)、上田市 (ブド ウの房切り)へ。



2016年 4月

新規就農

近くの農家さんから35 たのブドウの成園を借 りられることに。自分 たちで耕作放棄地を再 生したほか、地域の皆 さんから支援していた だき、十分な広さの畑 を借りて就農スタート。



^{*} 中副主幹 農政課

し支ど、 ず。丁葉 。援度ポ就 はい制そ新親制の 1 お気軽にご



に応じている方 け市国な Ι 7 独の不 タ い自支安 1 まの援

な説明を心掛け

7

紹市け主 てたら実 の関心である。 催市 るは、 どが首 度中出圈 つ もは を野掛

新 規 を